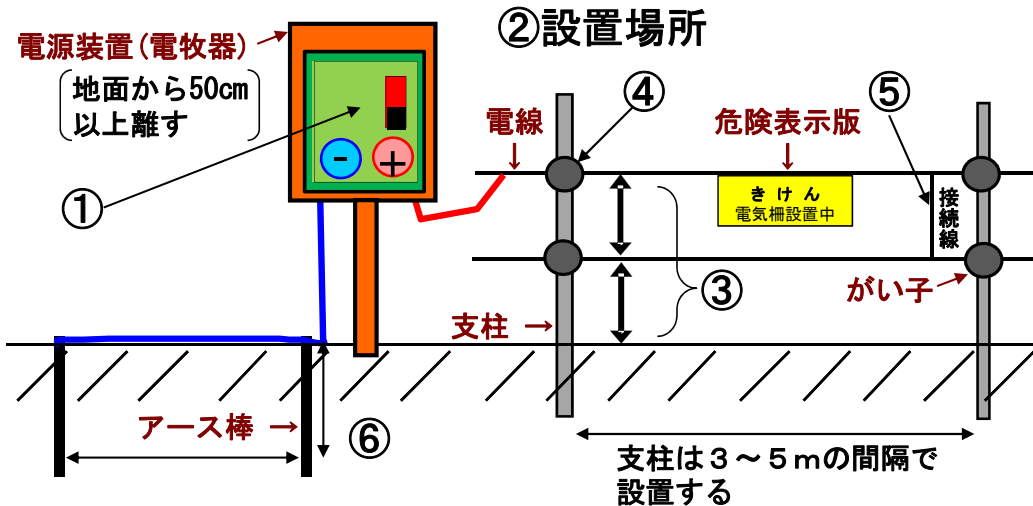


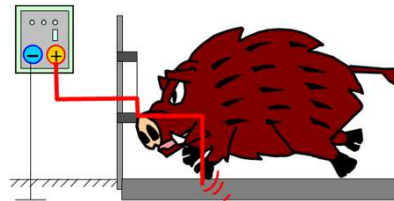
# 〈電気柵の設置方法〉



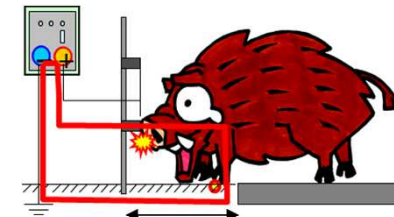
# 【設置の際の注意点】

## 1 設置場所

★舗装際には設置しない

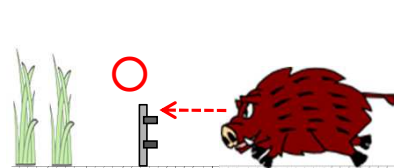


舗装道や石垣等は電気の通りが悪く、十分な電気ショックが与えられません。



舗装道等から50cm以上離して、地面に足が着く様に設置する。

★斜面は避けて平坦な所に設置する



○柵を作物に近づけすぎない



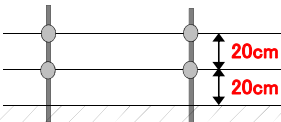
○動物の目線から柵が高く見える平坦な場所に設置。  
○設置や維持管理が容易な場所を選ぶ。

ポイント	チェック
<b>①電源装置(電牧器)の性能は十分?</b> 電牧器は、機種によって設置できる距離に限りがあります。説明書等で設置する距離に合っているか確認しましょう。	<input type="checkbox"/>
<b>②設置場所は適切に!!</b> (1) 舗装道路などの電気の通しにくい場所に設置しない。 (2) 傾斜地は避けてできるだけ平坦な場所に設置する。 →設置の際の注意点を参照	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<b>③電線の間隔は、イノシシ用では20cmに!!</b> 電線は対象とする動物に合った間隔にする。 →設置の際の注意点を参照	<input type="checkbox"/>
<b>④がいきは、動物が来る方向に向けて設置!!</b> 支柱と電線をつなぐがいきは、動物が来る方向に向けて付け、電線が支柱より外側を通るようにする。	<input type="checkbox"/>
<b>⑤長い距離を設置する場合は接続線を設置!!</b> 電気柵を長い距離する場合、上下の電線を繋ぐ接続線を50m毎に設置する。	<input type="checkbox"/>
<b>⑥アース棒は湿った場所に深く打ち込む!!</b> 出来るだけ湿った場所に、アース棒が地上に出ないように全て打ち込む。複数本を打ち込む場合は2m以上離す。	<input type="checkbox"/>

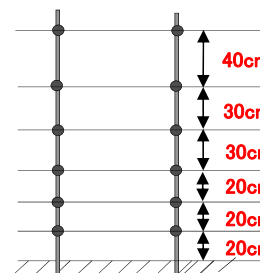
## 2 電線の間隔

★対象獣と電線間隔

※イノシシ用は1段目の地上高を20cm、2段目は40cmに保つ



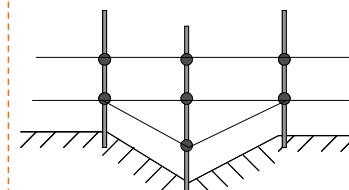
【イノシシ用2段目の例】



【イノシシ・シカ用6段目の例】

※イノシシ・シカ用の場合、上段の5、6段目は通電させなくてもよい。

★窪地での設置方法 隙間を作らない!!



※支柱やがいきを増やして地形に沿って電線は張り、隙間を無くしましょう。

## 3 電気の管理

★電圧は5キロボルト以上に保つ

→電圧が低い場合は漏電やバッテリー不足、アース不良の疑いがあります。

★昼夜問わず通電させる

→イノシシやシカは早朝や夕方などの明るい時間帯でも行動しています。

## 4 どのルート・位置に設置するか

### ☆柵のルートの決め方

#### ①守るべき対象・守るべき範囲は？

◇何を守るのかを明確にし、守るべき範囲はどこかを現地及び地図等で確認する。

#### ②どんな野生動物が、どこから侵入してくるか？

◇野生動物がどこから侵入してくるかを現地確認し、地図等に記入する。

#### ③どのルートに設置するか？

◇見回りや草刈り等の日常的な維持管理が容易で、農地のそば等高い侵入防止効果が得られるような柵のルートを①・②の結果から検討する。

## 〈電気柵の維持管理のポイント〉

- 1週間に1～2回は電気柵の周囲を点検し、電圧チェッカーで電圧を確認しましょう。

日常点検のポイント	チェック
○電圧は、5キロボルト以上あるか？	<input type="checkbox"/>
○雑草が伸びて電線に触れていないか？	<input type="checkbox"/>
○電線が地面や果樹柵の支柱等に触れていないか？	<input type="checkbox"/>
○倒木や落下した枯れ枝が電線に触れていないか？	<input type="checkbox"/>
○電線は切れていないか？ (樹脂紐に金属線を編み込んだタイプは、金属線だけが切断していることがある。)	<input type="checkbox"/>

- 定期的に電気柵の周囲の草刈りやバッテリーの交換等を行いましょう。

維持管理のポイント
○柵の周囲の草刈りや除草剤散布を定期的に行う。 (特に夏季は頻度を多くして、雑草が電線に触れないように管理しましょう。)
○電源装置のバッテリーは残量を確認しながら定期的に交換しましょう。
○電気柵は常に通電させておく。「 <b>通電させない電気柵を放置しない!!</b> 」(作物がない時期に通電させないなら片付けましょう。)

鳥取県版電気柵設置・点検マニュアル

〈発行日〉平成28年3月

〈発行〉鳥取県鳥獣対策センター

〈連絡先〉0858-72-3820・3821

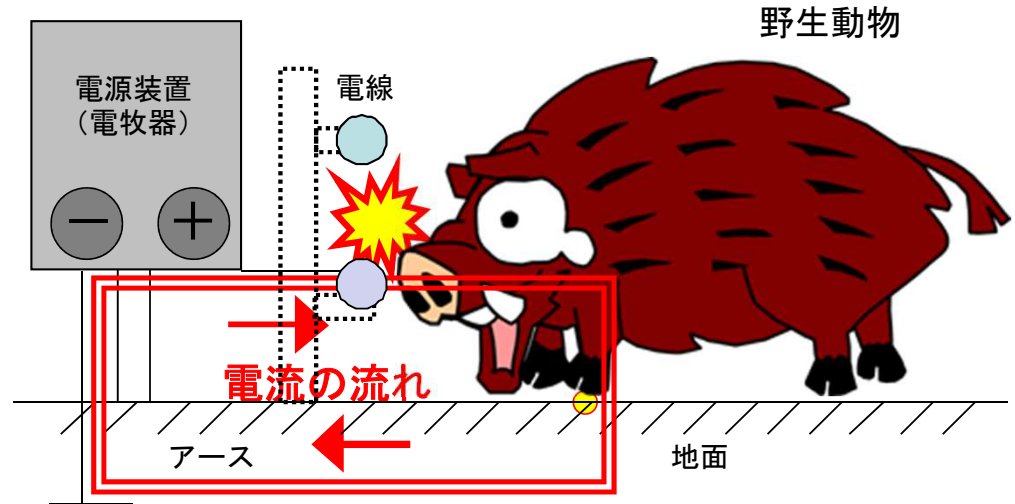
〈ホームページ〉<https://www.pref.tottori.lg.jp/257337.htm>

# 電気柵設置・点検マニュアル

鳥取県鳥獣対策センター

電気柵は野生動物の侵入防止に有効な方法です。効果的な設置や適切な維持管理を行いましょう。

## 〈電気柵の仕組み〉



- 電気柵は、野生動物が電線に触れたときに電気ショックを与えて痛み学習させる心理柵。電気を通しやすい鼻や口をいかに電線に触れさせるかが重要です。
- 野生動物に電気ショックを与えるためには、「電牧器—電線—野生動物—地面—アース—電牧器」と電気が流れる回路が必要です。

## ★電気柵の安全管理★

### 危険!!

家庭用電源から直接、電気柵に電気を流すのは**絶対にダメ**。必ず**電気柵用電源装置**を使用しましょう。

◇見えやすい場所に**危険表示版**を設置しましょう!!

◇30ボルト以上の電源(家庭用のコンセントなど)から電気を供給する場合は、**漏電遮断機**を設置しましょう!!